

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

当院看護部救命救急センターにおける研究調査へご協力をお願い

1. 研究課題名

膀胱留置カテーテル抜去アルゴリズム導入が脳卒中患者の尿路感染予防に与える効果と影響する要因

2. 対象となる方

2019年1月1日から5月15日に広島市民病院救命救急センターに、「脳出血（脳幹部は除く）」「脳梗塞（脳幹部は除く）」「くも膜下出血」のため入院されていた65歳以上の方

3. 研究の目的

脳卒中患者を対象とした膀胱留置カテーテル抜去プログラムの使用が尿管使用率と尿路感染症発生率に与える効果と影響する要因について明らかにします。

4. 研究期間

2019年1月1日～2023年3月31日

5. 研究に使用する試料・情報の種類

診療録から以下の情報を調査します。

診療情報：診断名、性別、年齢、泌尿器科疾患の既往歴、膀胱留置カテーテル使用の有無、膀胱留置カテーテル使用の場合はその期間、尿路感染症の有無（血液検査、尿検査データ）、意識レベル、麻痺の有無

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院 救命救急センター 看護師：川村泰貴

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。また、個人を特定できないようにしたうえで、学会や論文で発

表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院看護部 救命救急センター 川村 泰貴